

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
枚方市	氷室地区(穂谷)	令和3年3月30日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	17.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	15.9ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	12.1ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.0ha
(備考) ・小数点以下二桁目を四捨五入 ・後継者未定・現時点で後継者が決まっていないが、農地の貸付意向あり ・後継者不明・現時点で後継者もおらず、農地の貸付意向なし	

2 対象地区の課題

対象地区で回答のあった農地面積15.9haのうち、60歳以上の農業者の農地面積は12.1haで約8割を占めており、そのうち後継者未定の農地面積は、7.7haとなっており約6割を占めます。
一方、地区内において、今後の農地の担い手と期待できる中心経営体(新規就農者、大阪版認定農業者、農地銀行の利用者、拡大意向のある農業者)が引き受け意向のある面積は3.0haとなっており、今後、新たな農地の受け手が必要になると考えられます。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域の中心経営体として、新規就農者や大阪版認定農業者等を位置づけ、農地銀行や農地中間管理機構を活用し、農地の集約化を図るとともに、法人など新たな農地の受け手の確保について検討していきます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<農地の貸付け等の意向>

貸付け等の意向が確認された農地は、18筆、28,776㎡となっている。

<農地銀行や農地中間管理機構の活用方針>

- ・地域の中心経営体に、農地銀行や農地中間管理機構を活用し、農地の集約化を推進する。
- ・法人など新たな農地の受け手の確保について検討していく。